

1974年度

HSK	個人参加難病患者の会	1974年
あすなろ	「あすなろ会」発行 8号	10月20日
	発行所 札幌市東区北28条3	定価 30円
		原T20カ方

第2回大会資料 11月3日 (日) 清楓荘  
11時~3時

プログラム 司会 市場

1. 開会挨拶 (会長)
2. 活動報告 ( " )
3. 会計報告 (土屋)
4. 会計監査報告 (岩壁)
5. 活動方針 (会長)
6. 会則改正 (役員会)
7. 会員自己紹介
8. 役員改選 (役員会)
9. 来賓挨拶

医療講話 勸医協, 大橋晃先生

「難病と社会的背景」

会食 医療相談 生活相談 質問  
30分

10. 閉会.

「あすなろ会」の1年。 会長

発足12/1年がたちました。実に多忙で多難でした。

いろいろの問題を抱えながら、会員もふえ続け、80名  
にたつております。多くの難病ある限り、「あすなろ会」  
の会員は増え続けると思います。

この一年の間 道庁、市の方、各政党の方、多くの  
マスコミの方の御援助。難病連の方、お医者様の  
御協力。多くの道民の方の有形無形のはげまし、  
と12、役員の方の協力。と12、約1年たつてキョ  
ンテアの植村さんのお世話。カキマシの成田正憲さん  
等の御好意。さまざまの御支援により、とんたたく  
心強く、と12心の支えとなつたこと、と2も一  
言では言いつくせない程です。お礼かどいさいたした  
厚く御礼申し上げます。今後ともよろしくお厚いいたします。  
現在会員の病名は、脈なし病、パーキンソン、腎臓、  
ネフロセ、小脳失調、背骨の怪し脳変性症、肝炎、  
難聴、バリアー病、交通事故後遺症、手術後遺症。



多発性リウマチ、先天疾患、手術後遺症(心臓、加工)  
リンパ腫、癌、アミトロ、両足心症、尿管症、  
ネルソ、クローン症、自律神経失調症、ヒステリクス、  
小腸血管拡張症、色素性乾皮症、糖尿病網膜症、  
気管支拡張症、皮子炎、不明、等 28の病名にな  
っています。道内各地から参加しています。

旭川には支部が2つあるようにしては21周辺の会員も  
ふえています。しかしながら、私共会費は他団体よりは  
問題にしては最大の難関を抱えています。これは、  
不労病疾患に入つていとも、公費負担をいかにい  
いふことです。先般工亭し、都庁の特種特殊病対策  
課を訪れ、10月1日から公費負担をいかに病患を  
湘へ、自治体にする気があるなら、この程度のこと  
は出来るのではないかと思ひ、北海道の対策の貧  
困をいかに改め、考えざるを得ませんといふ。都民にたつ  
たこの日から(移動証明を登録(1日)から)所得の  
制限は(は無条件)のです。介護手当も2万円といふ。  
こちらは24日です。担当の方は、今年都は「対策費  
で破産します」と言つていまして、たどると及ぼすは300



国で救うべき問題を、自治体が抱える以上、自治体の責任を問うことはできないでしょう。同じ国に生まれるから、何しろらが、なのかという思いで、おた。私共は命をやりへらしはから難病達毎に27種人といふので、お先はまつらごり直しをたないといふので、思い、むほい気持ちを抱かざるを得ません。疾患名、汎発性強皮症(100名) 皮筋等(40名) 筋萎縮側索硬化症(220名) 特発性血小板減少性紫斑病(70名) の4病患は本人負担を国庫が半分の負担する。

カリコトビス(120) パーネリ(70)

劇症肝炎(20) 慢性肝炎(710) 肝硬変(440) 高血圧(脈圧病)(140) 背髄+脳変性症(210) グリス輪閉塞症(60) 卓頭2人かん(290) リヒトビス(70) 慢性関節リウマチ(360) 悪性高血圧(110) 約3,030人の申請を引付けらといふこと27種。

といふは、この方は気楽な気分を療養生活が送れるかと思ひ、その幸せをよるといふ気持ちです。

10月5日 道議会に難病問題がとり上げられ、  
会員5名も傍聴。知事はよべに「前向きに換  
討する」とのことでした。「患者手帳の交付」の公約  
も下されましたが、どの疾病についてかはこれから  
決まるとして、「私共は光があたるか」として  
「その内容はどのくらい」等この行方を、折りに  
たえず、実現を切望してまいります。私共会では  
いままでと知りぬいづれの波をまたもにかかり  
つ、身をける思ひでも、やはり運動は続けねば  
ならぬといはす。次の一年を充実させる活動ははす。

一年のあゆみ、 その他。

昭和48年「あゆみ3会」結成大会 北農健  
11月3日、保会館。患者17名。病系11。

11月11日 第1回役員会（原大竹荻野  
市場、土屋）難病連伊藤事務局長。

11月12日 道庁、道議会、市、市議会へ

要請書提出。

11月21日 会員 野村春吉氏死去。



12月9日 北海道美術師連九川連絡会発足。  
会長出席。「あすなろ会」を訪問。

49年1月17日 S.T.V テレビ「2時のワイドショー」  
「あすなろ会」の要望書とて12 会長 会長 会長出席  
(2. 道庁 特定疾患の普及啓蒙の回答といひき法  
合)。

1月20日 新年会 10名出席。

2月5日 道議会 厚生委員会等に予算要求  
の要望に参加。

3月4日 役員会 予算 年度の活動方針等  
法合)。

3月 12, 13日 10-12の病気に関係  
各方面に陳情 公費負担を訴える。

4月6日 役員会 年間計画を定む。

4月9日 「あすなろ」4号をめぐり各方面を巡回。

4月14日 難病連理幹 会長 常任理事に  
なる。49年度活動方針 予算案を可決する。

4月24日-26日 北大病院基準看護実施反対の

座り込み。「あすなろ会」からのべ6名参加。

5月12日 「あすなろ会」創会 会員17名  
難病連伊藤事務局長、加藤マユ成田氏、ボリン  
テア、植村人出席。

5月25日 難病連理事研修会。清根氏、  
道新の論議委員 佐味禮三先生。  
読売新聞記者 森一夫氏

6月9日 道難病連第2回大会  
ボリンテアと会長が会代表12名参加  
会員12名参加

6月22日 道や各政党控室に「あすなろ」を  
持ちこたえ。

7月1日 } 役員会  
" 18日 }

" 7日 難病連理事会。

" 28日 札幌市立病院で第2回厚田内科検診  
会員8名受診。

8月24日 役員会

" 27日 「あすなろ」7号を道庁その他にも送る。

31日 旭川122「バーチャル病」の会にも参加。  
周辺の会員も多く参加。



- 9月 7日 8日 旭川集団無料検診  
 4 16日 「あすなろ」和の例会 19名出席  
 10月 5日 6日 道議会傍聴 5名参加  
 " 13日 難病連理事会  
 " 16日 道議会予算委員会傍聴 3名参加  
 " " 役員会  
 " 23日 大会要約紙を道庁その他に配る。

50年度事業計画

1. 集団無料検診の実施
2. 医療、生活相談と行ふ。
3. 例会年4回、大会11月。
4. 会報の発行 年間10号の予定
5. 会員の年記、疼痛別の特集号発行。  
 (視た比 脈化はし病特集号編集中)
6. 「あすなろ会」の会報用文庫(貸出用)を作る。
7. 疼痛別の会の結成に努める。
8. 旭川支部結成。支部長友田尚。

「あすなろ会」の活動方針  
 あすなろ会の性格上、疼痛にとりわけたい医療



費公費負担の運動を続けねばなりません。そのため  
 には、難病連の各団体とも共通の事については共に活動  
 し、とてかく一年間「医療費公費負担」の問題に2回  
 組み、議会、各政党、市民団体に訴え続けたいと  
 思っています。血友病は訴え続け27年の月日がかり  
 ました。しかし、各自治体でも、それぞれに救済の途を  
 ひらきつてあります。これは、国民の多くの訴えが少しいつこ  
 も実のりへいよとておから、希望を捨ておいてかたがたしまし  
 ます。会員の皆様も一緒に活動にかかっています。  
 身辺のりの方々に訴え27年。難病連には関係ないとい  
 言われる方があつた（よ）か。議会や関係方面に  
 要望書を提出します。署名活動もいたします。

要望書（案）

はかりしんたいよ）は、ヘルペト、私共「あすなろ会  
 会員は、病とたいかい扱（た）めには、生かす行（た）めには  
 心から次のことを訴えます。

1. おび22認められ2いる30の疾患12も入らず、原因  
 不明、治療法もたよく、10年、療養生活を続け2いる  
 患者おび2を難病と認め2つてい。

1. おび2の難病疾患の医療費公費負担。



1. 患者、家族の生活に経済的負担をひらいて下さい。

会員中どの病が重く、どの車がいか等判別もつけがたく、毎日をやつとの思いで生きさせていただきます。

自治体独自にも救える所から手を打つので下さい。  
一歩を後進は患者様です。以上要望いたします。

○ 署名用紙は以上の要望書をもとに2つ作り、各会員宛に送りますから、お厚意をいただきます。  
この一年をかくり報人ごみまはる。折々ねはまたまた「難病」を理解してはもらえないのでから。

○ 会計報告をいたしましたか、ごめい(大変)なので。  
賛助会員(1年1,000円)を身の廻りの方へはお厚意を  
して下さい。今までも御厚意は又賛助会員と御支  
援にいたしています。厚く御礼申し上げます。最近小樽  
市の保健婦長の梅田和子様から、継続の寄付金とほげ  
ましのお便りをいただきました。或時はくや(り)泣き又  
会員の方とよるこびの涙を流して、1年がすぎました。  
50年度の1年を廻りある「あまなご会」がおあるように。  
会員の皆様も御一若に活動に参りまはる。  
勇気を出して病気をたいかい、全手扱きまはる。(以上)